

# 出向く宮農レポート

## 梨の現地指導会



南部宮農センター 豊明地域担当  
山内章弘

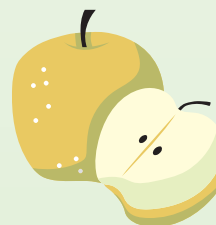
夏場から秋にかけて出荷される梨ですが、1年を通して防除や除草管理、1つの実を大きくするための「摘果」、実にくずがつかないようにする「袋掛け」等1年間で様々な管理を行います。今回は4月に行った現地指導会を紹介します。

この日は尾張農林水産事務所農業改良普及課の職員と豊明園芸組合果樹部員の梨生産者の各圃場で現地指導を行いました。梨はたくさんの花を付けますが、すべて実を付けてしまうと栄養が分散され実が小さくなってしまふことから余分な実を取り除く摘果作業を行います。圃場では梨の開花状況を確認し、開花後に行う摘果作業の方法について資料と実物を見比べながら説明を行いました。



現地指導で各圃場を巡回したところ、葉が丸まっており、アブラムシの発生が確認されたので防除を行うよう指導しました。また、今年は開花時期が平年に比べて10日程早く、前年11月に作成した防除暦と防除適期がずれる恐れがあり、「いつ農薬を散布していいかわからない」と質問があったことから普及課の職員とともに散布時期を検討し、生育状況を確認しながら防除暦より1週間ほど早めの防除を行うよう回答しました。

今後梨は袋掛け等の作業を行い、8月頃には豊明フレッシュセンター等に出荷されます。ぜひご賞味ください！



— 梨 —  
アブラムシに  
効く薬剤

マラソン乳剤

2,000~3,000倍 収穫14日前まで 5回以内

ウララDF

2,000~4,000倍 収穫14日前まで 2回以内